

県広報

特集「僕たち私たちの富山県をつくろう」

—新富山県民総合計画の策定状況と取り組み—

クローズアップ NHK朝のドラマ「凜々と」ロケ、始まる！
とやまアラカルト④「富山県とスポーツ」

とやま



1990
No.254

3

先日、千歳から小松までの飛行機の窓から二つの面白い風景に出会った。日本海の沿岸を飛ぶこの航路はわたしにとって初めてで、快晴に近い天候は冬の北日本の自然の厳しさをモノクロのシャープなパターンで際立たせた。その面白い風景の一つとは、鋭利な刃物のならんだような厳しい冬の立山連峰が見え、その遙か遠くではあるが富士山がオーバーラップして見えたことである。一瞬、こどもの描く心象画でも見ているかのような錯覚に陥ったのである。直線的で白と黒の複雑な構成の連続がつくりだす荒々しい造形群とは極端に対照的な富士山が、霞のような雲の上にポツカリ浮いて見えたのである。自然がつくり出したとは思えないシンメトリックで優雅なフォルムが画面の上をしめている絵はたのしいけれど、けっして名画にはならない構図である。しかし、象徴的で一個の個体としての富士山と幾つもの山が重なりあっている立山の山々の造形的な対比がおもしろく、その違いを考えていた。さらにもう一つの興味ある景色というのは、その立山の山々から、そのすそ野に目をうつしたときである。白い平面の上に不思議なパターンの広がりが入ってきたのである。冬の平野はケーキに粉砂糖を振りまいたように

真っ白で、その白い平面の上にランダムではあるが、ほぼ等隔に黒い点が間点にしているのである。自然がつくり出した構成でも、人工的な構成でもない、そのイメージは完全に抽象絵画の世界であった。これが砺波地方の散居村を上空からみたパターンであることはすぐに理解できた。散居村については富山市の科学館でその存在を知り、そのみごとな自然と人間の関わり合いのシステムに感動したことがあり、何度か見学に行ったこともある。一度空から見てみたいと思っていたアングルなので、心おどる思いであった。たまたま、飛行機の小さな窓からの一瞬の視覚体験でしかなかったが、私にとってこの時に見たその二つのパターンは富山のイメージと深くむすびつくのである。それはこの地方には遠くに見えた富士山がないこと、そのかわり、たくさん山の集まりである力強い立山があり、そして、力のバランスが均等ではじめて可能になる、みごとな配置の集落など、個々の存在があっではじめて生まれるパターンの美しさを見ることができたのである。そしてこの二つのアングル以外にも同じようなパターンがいろいろな所で見ることもや感じることができた。チューリップ畑にも、むぎや踊りにも。

上空から

造形芸術家 伊藤 隆道



ひと
アズ
とやま



ただ今、ドラマに全力投球!

「凜凜と」主役 田中 実さん

「富山県は自然が豊かできれいな所。主人公幸吉のおおらかさはこのふるさとで育まれたものですね。来てみて、主人公の人となりを感じてつかめたような気がします。」と富山の印象を語ってくれた田中実さん。この四月から始まるNHK朝の連続テレビ小説「凜凜と」の主役に抜擢されました。

田中さんはこれまでテレビドラマ「ジャングル」や映画「潤の街」などに出演しましたが、本格的なテレビドラマの主役になるのはこれが始めて。

ロケでは、病気のおばあさんを背負って坂道走るシーンや雨の中、何度も何度も振り直すなど「ドラマづくりは体力が勝負」というのを身をもって感じたとのこと。魚津でのロケは一月に行われましたが、ロケ中に季節はずれの蜃気楼が出現。物語のキーポイントとなるものだけに思わぬ偶然に大感激したという田中さん。

「幸吉もこの不思議な蜃気楼に魅了された一人。そこからテレビを作るという発想力とどんなときにもくじけず、おおらかな性格に憧れを感じます。私もこの役を演じることによって自分をもっと大きく大きくしていきたいです。」とドラマに熱い思いを寄せます。

体も大型で度胸も満点。これからの活躍が期待される大型新人です。

“凜凜と”県内ロケ、はじまる! ①



▶これがお婆さんを背負って坂道を下るシーン。スタッフの指示を聞く田中さん



▶馬ソリに揺られる佐伯先生役の神田正輝さん



▲ドラマが成功しますように…魚津市諏訪神社にて

四月から放送されるNHK連続テレビ小説「凜凜と」のロケが、一月十八日から二十五日まで、魚津市をはじめ県内各地で行われました。

このドラマは、ラジオ放送さえなかった時代に電気映像（大型画面テレビジョン）を夢見てエネルギーギッシュに生きた若者の愛と友情の青春物語で、脚本は「教師ビンビン物語」や「痛快OL通り」などを手懸けた矢島政雄氏の作。

この日のロケでは主役の田中実さんはじめ荻野目洋子さん、野村宏伸さん、梨本謙次郎さんらが出演し、ロケ現場は東京、大阪、名古屋をはじめとする取材マスコミ陣や大勢の見物人で賑わいました。



▲陽気に手を振る貞吉役（幸吉の父）のイツセー尾形さん

- 主な配役
- 田中 実
 - 荻野目洋子
 - 野村宏伸
 - 梨本謙次郎
 - ハナ 肇
 - 真野響子
 - 神田正輝
 - イツセー尾形
 - 永島映子
 - 手塚理美
 - 小野みゆき
 - 喜多嶋舞
 - 水野真紀
 - 藤谷美紀
 - 一色彩子
 - 高川裕也
 - 田中 幸吉
 - 青木 郁
 - 青木 憂
 - 丁子屋銀造
 - 丁子屋伝右衛門
 - 岡部ミツ
 - 佐伯昌之
 - 島山貞吉
 - 島山 妙
 - 水田澄江
 - 阿部富恵
 - 大原真智
 - 川上八千代
 - 岡部タマ
 - 竹姐さん
 - 木村 誠
 - 田中 実
 - 荻野目洋子
 - 野村宏伸
 - 梨本謙次郎
 - ハナ 肇
 - 真野響子
 - 神田正輝
 - イツセー尾形
 - 永島映子
 - 手塚理美
 - 小野みゆき
 - 喜多嶋舞
 - 水野真紀
 - 藤谷美紀
 - 一色彩子
 - 高川裕也
- スタッフ
- 脚本 矢島正雄
 - 音楽 堀井勝美
 - 製作 田代勝四郎
 - デスク 石井 慎
 - 演出 岡本憲佑 他

③ 夢があふれる冬のステージ

'90雪のファンタジーコンサート



'90雪のファンタジーコンサート 2月4日

音楽を通して雪に親しみ、北陸の冬を楽しく過ごすそうと、『雪のファンタジーコンサート』が、二月四日、県民会館で開催されました。

第一部では、高岡女子高校合唱部によることのための合唱組曲「雪の窓辺」や主婦グループの合唱団クール・クロアの「越中おわら」などが披露されました。続く第二部では、富山市新庄小学校吹奏楽部がティズニー・メドレーを、富山商業高校吹奏楽部がユーミンの曲や青い山脈などにのせ多感な青春時代の感動を演奏。そして、第三部では、奥田中学校・藤園女子高校によりビートルズのメロディーにのった軽快なステージパレードが演じられました。

若さあふれるとても明るいステージで、青と白の光のハーモニーが、聴いている人を幻想的な夢の世界へと引き込んでいくようでした。

健闘したぞ! 富山県選手団 ②



第40回中部日本スキー大会開催



第四十回中部日本スキー大会が常陸宮様ご夫妻ご臨席のもと一月二十八日から三日間の日程で山田村・牛岳温泉スキー場で開催されました。

この大会は富山、石川、福井、岐阜、愛知、静岡、三重の七県が参加して行われるもので今年も富山県で開催。期間中に雨が降るなど必ずしもベストコンディションとはいえない中、富山県選手団の活躍はめざましく大回転では、成年女子一部の辻里美さん、教員男子の志鷹寿郎さん、成年男子一部の佐伯悦野さん、成年男子二部の賞場幸英さんが一位となり、アルペン競技でも最終日に逆転優勝するなど健闘が光りました。この結果、総合では岐阜県に次いで二位となりました。

新しい総合計画の策定への取り組み

富山県の新しい総合計画の策定が進められています。計画は平成三年度から始まり西暦二〇〇〇年（平成十二年）を目標年度とする十年間の新しい指針となるもので、一九九〇年代の富山県、二十一世紀へ向けてのステップアップとして富山県を方向づけるものです。

僕たち私たちの富山県をつくらう



わたしたちの壁画'90より、立山町立釜ヶ淵小学校6年生の作品(部分)

21世紀に向けての県づくり

総合計画の作り方は、県民一人ひとりの意見を大切に、各分野の専門家の意見を聞いて組立てていくという方法をとっています。県では、新しい総合計画をつくる準備として、健康、福祉、教育、文化などの各分野ごとに専門家による研究会を設け、予想されるこれからの社会の変化や課題等について研究してきました。また、これとあわせて、県民のアンケート調査なども実施してきました。

これらの中から、主な内容を紹介しましょう。

◎アンケート調査の実施

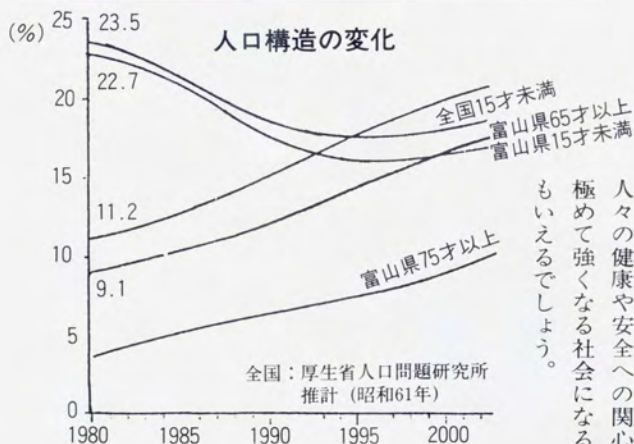
項目	調査期間	調査対象	人数
県政世論調査	7/3~7/17	県内在住成人	1,200人
有識者アンケート	7/10~7/20	有識者(5部門)	500人
高校生アンケート	7/4~7/31	高校2年生	1,080人
市町村長アンケート	5/17~6/12	全市町村長	35人

◎各種懇談会ブロック別開催

地区等	若者		婦人		市町村長・県議	
	開催日	出席者	開催日	出席者	開催日	出席者
砺波	7/29	14人	7/29	15人	11/27	15人
高岡・射水	8/19	14人	10/7	14人	9/29	25人
富山	8/5	16人	9/2	14人	10/25	25人
新川	7/1	15人	7/1	15人	11/15	9人

◎その他

開催区分	開催日	出席者
外国出身者	7/15	12人
工場長・支店長等	10/25	11人
県外有識者	11/30	6人
県外若手有識者	10/27	7人

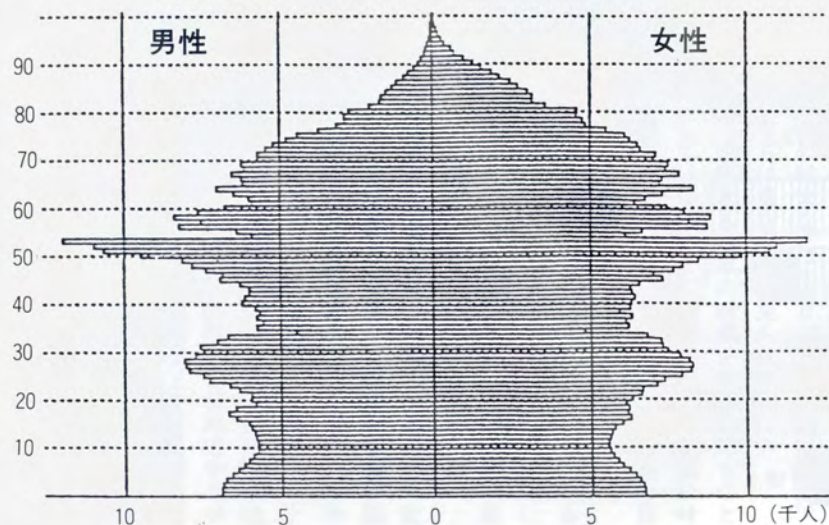


富山県は全国平均を上回る速さで高齢化が進んでおり、お年寄りが今よりもずっと多くなる社会が予想されます。それはまた、豊かな経験や知識、技能を持つ高齢者が多くなる社会であるとともに、人々の健康や安全への関心が極めて強くなる社会になるともいえるでしょう。

お年寄りが今よりも多くなる



西暦2000年人口ピラミッド



県民誰もが健康で生きがいを持って生活できるように、就職や健康、福祉教育、居住環境など「人生八十年」時代に応じた社会のしくみづくりに県民、行政、企業等がみんなで取り組んでいく必要があります。

地域社会を活性化し、発展させていくためには、産業や文化などあらゆる面で若い力が必要です。若者の定着や流入を図っていくことが大切になってきます。

◎アンケート（福祉健康）では

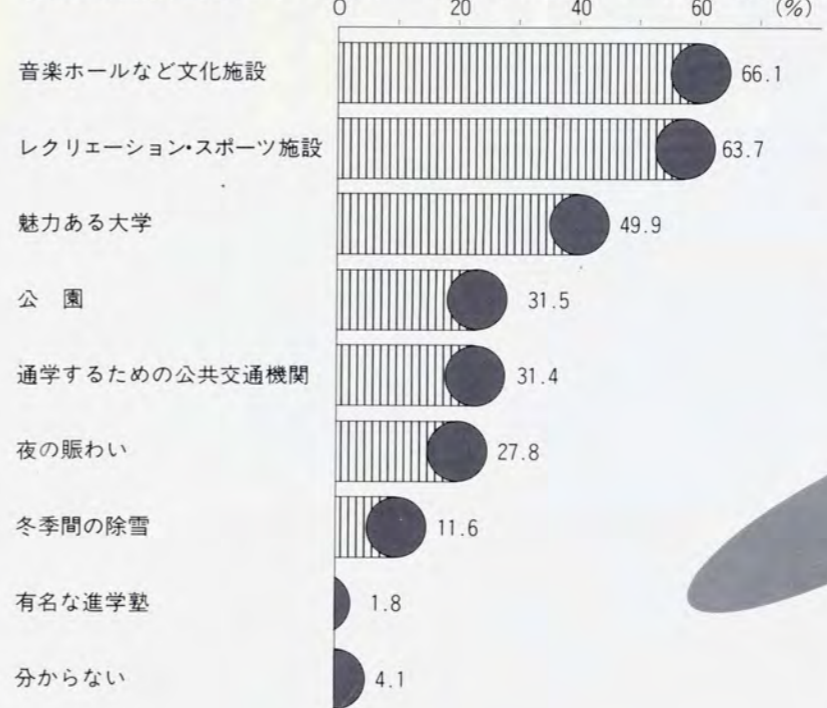
高齢化や障害者のための福祉の充実、生涯を通じた健康習慣づくり、健康習慣づくり、健康診査等の充実や医療体制の整備などが望まれています。

多様な生き方が求められる

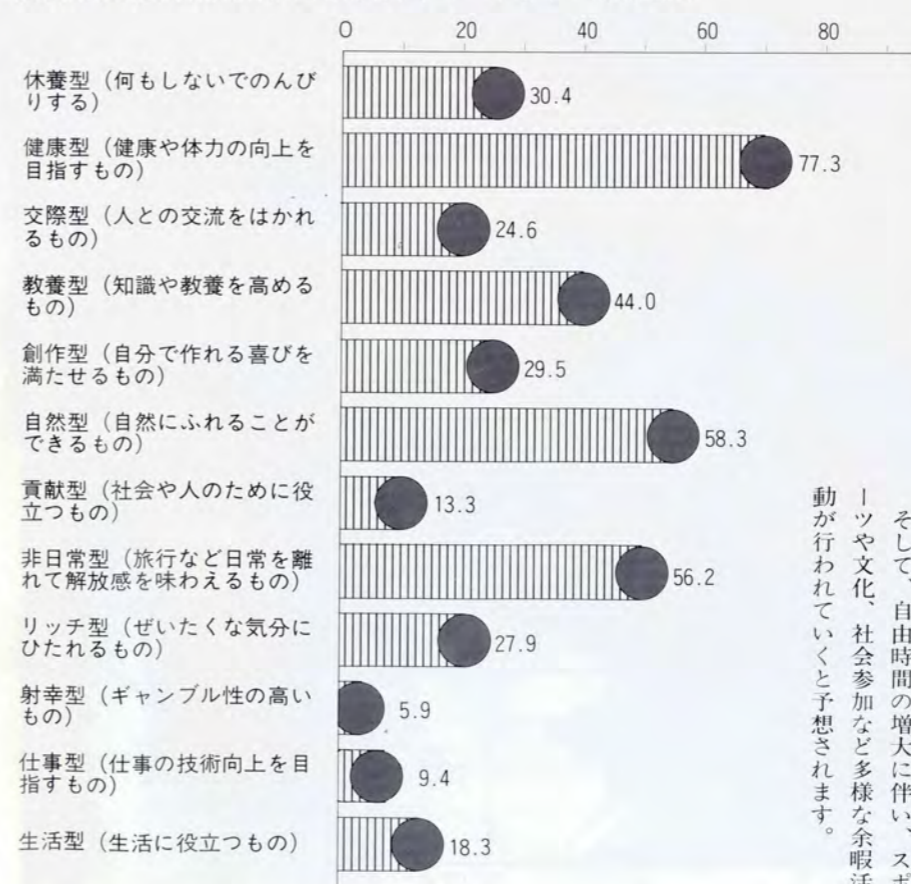
人々は、精神的・文化的豊かさや暮らしの質的充実を、そして自分らしい生き方をより強く求めるようになっていっています。そして、自由時間の増大に伴い、スポーツや文化、社会参加など多様な余暇活動が行われていくと予想されます。



現在の富山県に不足しているもの（県総合計画高校生アンケートより・複数回答）



余暇活動の志向（県総合計画有識者アンケートより・複数回答）



都市景観や自然環境の保全・確保、生活の利便性や文化性の向上など快適な環境への欲求もさらに高まるものと見られます。

◎アンケート（余暇）では

スポーツや文化、レクリエーション施設の整備充実、優れた芸術文化に接する

機会の拡充などへの積極的な対応や、都市機能の充実への配慮が望まれています。また、高速交通網や県内道路網の整備に対する要望も強いものとなっています。



情報化・技術革新が進む

パソコン通信や衛星放送など県民の地域生活の中にも情報化が浸透し、家にながら勤務できたり、ホームオートメーション、ICカードの普及など家庭生活面でも情報化がより身近なものになるでしょう。

単に情報を受け入れるだけでなく、情報の伝達手段の整備を進めるとともに、情報を発信できる能力を高めて積極的に情報化社会に参加していく地域づくりが重要となってきます。

また、新しい科学技術の進歩は、病気の予防や治療、降雪予報など様々な面で暮らしに活かされていくと予想されます。一方、急速な情報化や技術革新が、プライバシーの侵害や環境汚染などの問題を生じさせることのないような対応も、重要になると考えられます。



変わる産業

生産・流通・販売など産業のあらゆる分野で、情報化や新しい技術の導入・自動化などが急速に進むものと予想されます。

サービス業の増加や製造業における研究、デザイン、販売などの部門のウエイトの拡大などにより、産業構造の変化は、さらに進むものと見られます。

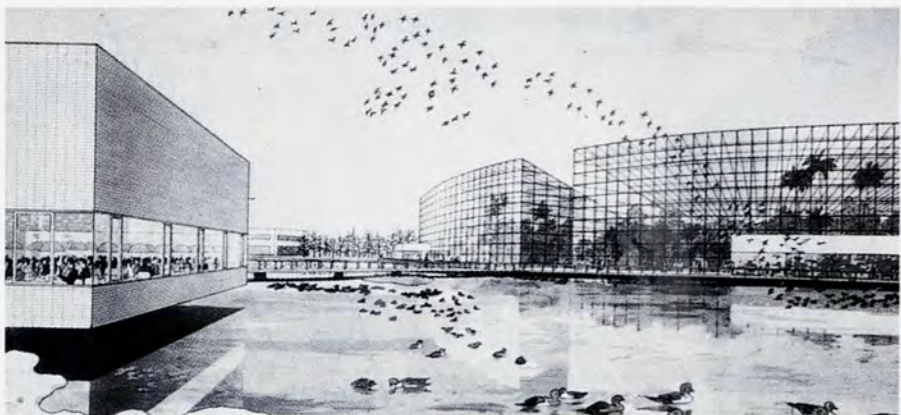
今後とも本県の産業を活力あるものとしていくために、経済の変化に柔軟に対応できるバランスのとれた産業構造を目指していくことが求められます。

農産物市場の自由化や製造業における国内外の競争の激化など、厳しい状況に置かれることが予想され、付加価値の高い産業を育てていく必要があります。

職業技術や職種の変化・勤務形態の変化などに対応した総合的な雇用対策を進める必要があります。

◎アンケート（産業雇用）では

人材の確保や育成、研究開発部門の強化、技術の導入、情報化への対応などが求められています。また、若者に魅力ある職場の確保や高齢者の雇用機会づくりが期待されています。



広がる新しい交流の時代

人々の家庭や地域社会におけるつながりが弱まる傾向にある一方で、友達同士など自由なグループの活動が盛んになるでしょう。

地域と地域の交流が今後ますます拡大するものと見られ、地域間の競争は激しくなっていくでしょう。

また、国際的な人や経済、情報等の交流が一層拡大していくと予想される一方、経済面などで新しい問題の発生も懸念されます。

高速交通網情報通信ネットワークの整備、個性豊かな地域づくりなどを進め、多様な交流を活発に展開していく必要があります。

民間と行政が一体となって経済や文化・スポーツなどで様々な国際交流を推進していくとともに、国際感覚豊かな人材の育成や交流の場の整備などを進め、富山県の国際化を図っていくことが望まれます。



とやまを語る

県では、総合計画を立てるため市町村長をはじめ、若者、婦人などと各種の懇談会を実施し、意見を出し合っていたいただきました。そこで、そこから出された意見の中から一部を紹介します。

計画全体について

これからの計画は、外国からの人口流入など、国際的に見た日本の問題を県のレベルでも相当考えていかないと、県をうまく運営できない。

市町村にやる気を起こさせ、市町村レベルから発想させることが大切ではないか。

女性・若者と地域の活性化について

女性がいけない地域は今後だめになってしまう。いかに女性を地域に留めるかがこれからの地域活性化を考える場合の一番の問題だと思う。

富山に若者が少ないのは、大学が少なから、特に女子大が少ない。

遊び心について

富山県の高校進学率、貯蓄率が日本一ということとは、逆にいえば遊びが下手だということ。富山にこれから必要なのは、娯楽や遊びの専門家では。

産業づくりについて

富山では常に新しい時代の技術革新が行われているという意味での「研究開発

立県」がこれから富山の目指すべき方向では。

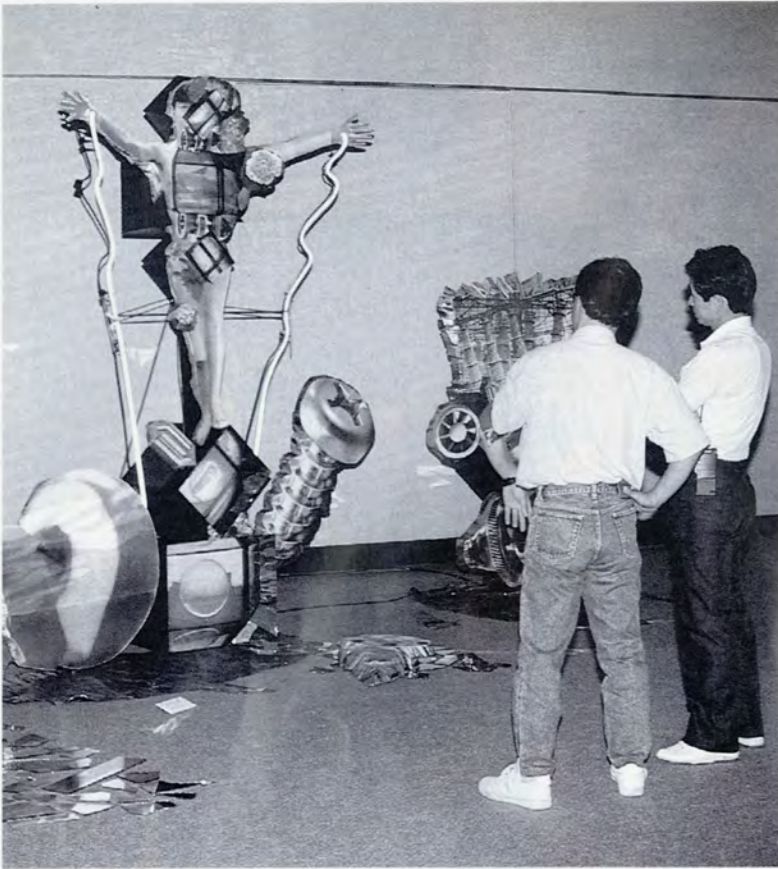
いろいろな大学の先生や研究者が、自然にスリットと集まる場としての「技術の里」みたいなものをつくったらどうか。

新しい総合計画について みなさんのご意見を お寄せ下さい。

県では、この二月に富山県総合開発審議会に対し、新しい総合計画の策定について諮問し、本格的な計画づくりに取り組んでいます。

二十一世紀の富山県をつくるのはもちろん県民一人ひとり。県民誰もが住みよいと思うような富山県になるよう、みんなで考えてみませんか。

新しい総合計画に対する皆様のご意見・ご要望をお寄せ下さい。



▶わたしたちの壁画90より、富山市立星井町小学校（6年生の作品部分）



キトキト 魚が いっぱい いきいき かけ声

いっぱい 漁港の朝は 活気にあふれる

朝の人々

撮影 / 池端 滋

PIN-UP TOYAMA



あなたも情報公開制度を活用してみませんか?



レポーター:坂部のり子さん(富山市)

県庁には、大型コンピュータから小型のパソコンまで様々なOA機器が配置されており、県職員、教員、警察など約一万九千人の給与計算、財務会計処理、県税の計算、土木工事の進行管理などに幅広く利用しています。

また、行政に対する需要も多くなり多様化していますので、事務処理の効率化を図るため、富山県OA化推進計画を策定。それに基づいて新しいシステムの開発やパソコンを多数配置した庁内のOAルームを活

OA化に対応した職場づくり

坂部●最近、どこの会社でもOA化が進んでいますが、県庁ではOA化にどう取り組んでいるのですか。



か。坂部●情報公開とはどのような制度ですか。

県の保有する情報を皆さんに公開・提供して、県政に対する理解をより深めていただくものです。これには、県の文書を皆さんの請求に基づいてお見せする公文書開示制度と、県の行政資料やパンフレットなどを自由にご覧いただく情報提供の二つがあります。

坂部●この情報公開制度は、一年間にどのくらい利用されているのですか。

昭和六十三年度は公文書開示制度と情報提供あわせて二八九五件の利用があり、その内容は、県の主要プロジェクト、予算、教育、自然保護に関することなど様々な分野に及んでいます。以前と比べて、今では、皆さんの情報を一度に自由に見ることができ、相談も受け付けているので、ぐっと便利で気軽に利用できるようになりました。



▲富山県公文書館

県議会に諮る条例をはじめ規則・訓令などの審査、文書の受付・発送などの仕事を行っています。年間の文書取扱件数は約七十万通に達しています。

坂部●県民に対し開かれた分かりやすい県政を進めているのですか。

私もこれから気軽に情報公開制度を利用してみたいと思います。

条例の審査や文書収発の集中管理

坂部●その他、総務課ではどのような仕事をしていますか。

県議会に諮る条例をはじめ規則・訓令などの審査、文書の受付・発送などの仕事を行っています。年間の文書取扱件数は約七十万通に達しています。

坂部●県民に対し開かれた分かりやすい県政を進めているのですか。

私もこれから気軽に情報公開制度を利用してみたいと思います。



野に及んでいます。以前と比べて、今では、皆さんの情報を一度に自由に見ることができ、相談も受け付けているので、ぐっと便利で気軽に利用できるようになりました。

坂部●呉羽丘陵にある公文書館は、どのようなことをしているのですか。

公文書館には、富山県史の編さん時に収集した歴史資料や、明治の置県時から戦前にかけての公文書が年代別に整理・保存されています。これらの資料は、プライバシーなどの問題がない限りどなたでも自由に閲覧することができ、年間四千人以上の方に利用されています。また、これらの資料を利用した歴史講座、子供郷土史教室や古文書入門教室も開かれていて、大変好評です。

●情報公開の推進——公文書を開示し、県政の情報を提供します!

●OA化の推進——事務のコンピュータ処理を進めます!

総務課は、県民の皆さんに参加していただける開かれた県政の推進や機械化による事務の効率化に取り組んでいます。

開かれた県政の推進、事務のOA化をめざして



ふるさと
みてある記

大島町

昨年、開町百年を迎えた大島町ではたくさん
の記念行事が行われた。大島音頭の創作もその
一つ。

わたしや大島 梅の町育ち
春が来たよと 鶯鳴けば

ホンニよいとこ 大島ヨイトナリ



▲練習にはげむ大島町民謡
民舞会のみなさん

わしが胸にも 花が咲く
歌は五題目まであり、梅、太鼓、へちま、鳥
取の里など大島の名物が歌い込まれている。踊
るのは大島町民謡民舞会の皆さん。



▲指導する山下文子さん

「開町百年記念の祝賀パーティで初めて揃い
の着物を
着て踊っ
たんです。
いつも練
習してい
るけど、
発表の場
になると
やっぱり
緊張するみたいですね。」と話す山下文子さん。
山下さんは全日本民謡指導者連盟
公認指導者で、月二回大島音頭を
教えている。

「民謡だから少なくとも七、八
人で踊ります。全員きれいに揃う
のが大切なんですけど、なかなか
難しいですよ。」

会員は、囃子方を含めて約六十
名。平均年齢は六十歳ぐらいで、
昼は孫の面倒を見て、夜に民謡を
習いにくる人も多いいとか。
大島音頭の発表の場は、町内の
成人式・敬老会などが主で、年に五・六回程度
であるため会員の皆さんはもっと多くの機会が
ほしい様子。
新しい郷土芸能「大島音頭」、へちまや太鼓に



めでたい所に 親子獅子

四月初旬、大島町では町内のあちこちからお
囃子が聞こえてくる。大島町の春祭りには、各
地区から獅子舞が出て、この時期いくつもの獅



▲赤井青年団団長 宮腰亨さん

子舞を見るこ
とができる。
中でも赤井地
区の「親子獅
子舞」は有名。
親子獅子舞
というのは、

大きくなって獅子舞ができるのを楽しみにして
いたという宮腰さん。今年も四月六日に祝事
があった家で親子獅子を舞う。

近所で評判の ザリガニ博士

玄関を見ると、ガラスの水槽で何かがゴソゴ
ソ動く。中を見ると、普通の赤黒いザリガニに
混じって青いザリガニが。この珍しいザリガニ
を飼育しているのは、大島町の中村充祥君（13
才）
興味を持ち始めたのは小学校一年生の時に子
持ちのザリガニを捕まえてから。それ以来東北
以北にしかない種を北海道のいところから送っ
てもらったり、琵琶湖だけに生息する種を分け
てもらいに行ったりして、日本にいる四種類全
てを飼育した。小学校六年間の観察、実験記録



▲ザリガニ博士の中村
充祥君。
▶左が青いザリガニ



大島町の概要

人口 8,587人（1月1日現在、県人口統計調査より）
面積 7.96km²

町総面積の半分以上が農地という田園地帯だが、近年高岡市
に隣接するベッドタウンとして急成長。県内でもトップクラス
の人口増加率を示している。

一方、へちまの産地化に取り組んだり、大島音頭、大島太鼓
を創作したり、新しいふるさとづくりを進めている。



赤い頭の雌獅子から小さな獅子が産まれる様
子を舞うものでそれは出産・結婚など何か祝い
事があった家だけで舞われる。富山県内に千三
百ある獅子舞の中でも親子が登場するのは珍し
い。
獅子を舞うのは赤井の青年団。団長の宮腰亨
さんは次のように話す。「よく取材を受けるん
ですけど、はつきりとした由来がわからないから
困るんですよ。調べてみても、近くの村から習
ったことしかわかりません。」
宮腰さんが獅子舞の手伝いを始めたのは、小
学校一・二年生のころ。最初は囃子方をしたそ
うだ。「昔は家が百軒ぐらいたったけど、今は二
百軒近くあるから、全部の家を回るのには、朝
七時から始めても夜中三時までかかる。夜にな
ると子供は帰すから、獅子は小柄な大人が舞
うことになるんですよ。」何と言っても主力は学
生。獅子舞のために県外から戻って来る者も多
いとか。
「引越してきた中・高生を仲間に入れるのが
一番難しい。でも小さい子供には人気があるか
ら、その子たちが大きくなるのが楽しみだね。」

富山県のスポーツ



今回のテーマはスポーツ。現在、富山県は健康・スポーツ日本一の県を目標に2000年国体を目指して頑張っています。富山県出身のいろいろな種目で活躍した選手を紹介します。

オリンピックに出た、富山県選手

一九三二年アメリカ・レークプラシッドで行われた第三回冬季オリンピックに出場したのが砺波市出身の老松一吉。スケート競技フィギュアで九位第四回大会にも出場ドイツで行われたし、十六位の成績を収めました。

一九三六年のベルリンオリンピックでは富山市出身の稲波弘次が馬術競技に出場。このとき、日本チームは団体に二位になりました。

一九五六年のメルボルンオリンピックでは、体操に坂下千津子が出場。こ

のとき、日本チームは団体に四位となりました。また、水泳で朝日町出身の長谷景治が百メートル背泳ぎ準決勝まで進出しました。

一九六〇年のローマオリンピックでは、体操に富山中部高OBの三栗崇が出場。個人総合九位、徒手四位、鞍馬四位と、日本の団体優勝に大きく貢献しました。また、板飛込みでは山野外嗣夫が七位になりました。

この他、ヨットの山田水城、レスリングの滑川高OB石倉俊太らが出場しましたが、惜しくも選落ちしました。

一九六四年の東京オリンピックでは引き続き三栗崇が出場。個人総合九位になり、日本は団体にローマに続き優勝しました。レスリングでは、滑川高OBの堀内岩雄が三位になった他、マラソンで高岡商高OBの寺沢徹が十五位、競歩で高岡工芸OBの江尻忠正が二十二位と健闘しました。この他、飛込みの山野外嗣夫、フェンシングの保



井多美子（婦中町）、陸上高障害の安田寛一（富山市）、走り幅跳びの河津光朗（魚津市）、ボートかじつきフォアの松田征男（富山市）らが出場しましたが惜しくも選落ちしました。

一九七二年のミュンヘンオリンピックでは水泳で富山高OBの佐々木二郎が二百メートル個人メドレー、四百メートル個人メドレー、四百メートルリレーに日本新記録を出すなど活躍しましたが、及ばず選落ちしました。

一九七六年のモントリオールオリンピックでは、水泳に森千春（富山市）が出場、県民の期待を一身に集めました。

一九八四年のロサンゼルスオリンピックでは、ハンドボールに氷見出身の西山清、また、馬術に牧野孝喜が出場しました。

一九八八年のソウルオリンピックでは、引き続き、西山清が出場しハンドボールチームを引っ張ったほか、インテックの坂田昌広が漕艇競技に出場しました。

最近活躍している富山県の選手

最近の富山県勢の活躍が目立つものと言えば、水泳、ボート、など。水泳

では、一九八七年ソウルで開かれた第十回アジア競技大会で日本新記録を出したバタフライの河原泉（藤園女子高）や背泳ぎの小野都（富山女子高）が楽しみなど。昨年の国体で河原泉は百メートルバタフライ一位になるなど大活躍。小野都は健闘したものの惜しくも二位となりました。

ボートでは、第一人者の坂田昌広が健在。昨年の国体でも優勝し、団体二連覇をなしました。また、八尾高校もボートの強いところ。昨年の国体でも優勝し、団体八連覇を成し遂げました。他には、インテックの女子部や細入村の榎原中学校などが頑張っています。

この他では、ホッケー、バトミントンなどが富山県勢の強い種目。小矢部市の大谷中学校、石動高校女子チームが昨年国体で優勝しました。また、バトミントンでは、三協アルミ女子チームが高いレベルを誇っています。

また、一九八八年アジア・オセアニア地区を対象としたサムソン・インターナショナル馬術競技会で日本人で初めて優勝した牧野孝喜、同年、全国小学生テニス選手権大会、全日本ジュニア選手権大会で優勝した堀田朋愛なども、これからバロセロナオリンピック、2000年国体に向けて楽しみな人たちです。

確定申告はお早めに

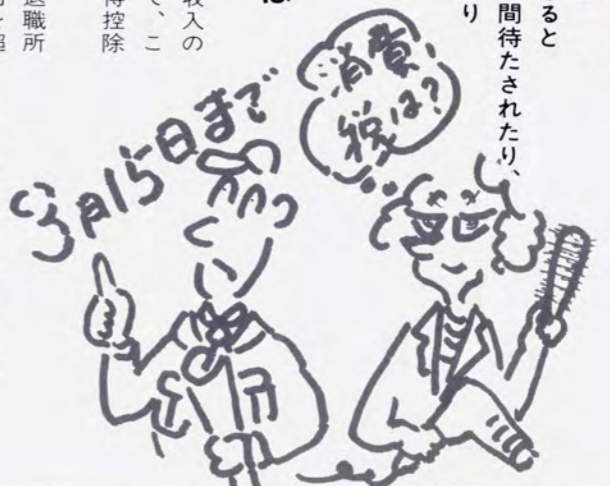
～消費税の確定申告もお忘れなく

平成元年分の所得税、贈与税、住民税、個人事業程の確定申告の期限は三月十五日です。期限間近になると事務署の窓口が混み合い、長時間待たされたり、落ち着いて相談ができなかつたりということになりますので、申告は早めに済ませましょう。

所得税、贈与税の確定申告をしなければならぬ方

- ① 事業を行っている方や不動産収入のある方、不動産を売った方などで、これらの所得が基礎控除などの所得控除の合計額を超える方
- ② サラリーマンで、給与所得や退職所得以外の所得の合計額が二十万円を超える方
- ③ 個人から贈与を受けた財産の合計額が六十万円を超える方

住民税、個人事業税については、所得税の確定申告書を税務署へ提出されれば、市町村、県への申告は不要となります。



消費税の確定申告も

また、今年からは消費税の確定申告も必要となります。個人で事業を行っている方で、課税事業者となっている方は、四月二日までに申告をお願いします。なお、手続きその他くわしいことは最寄りの税務署までご相談ください。

海外派遣団員募集



第20回富山県青年海外派遣団員募集

派遣国 西ドイツ・スペイン
 期間 十月二日(火)～十四日(日)の十三日間
 募集人員・資格年齢
 一般部門 約四十五名(うち身体障害者三名程度)
 二十歳以上三十歳未満
 農業部門 約十五名(うち農業高校生・短期大学生三名程度)
 二十歳以上三十五歳未満
 団員負担金 約十九万円
 募集期間 三月十二日(月)～四月十二日(日)
 ※詳しくは、市町村青少年対策主管課又は県庁婦人青少年課へ

第10回富山県婦人海外派遣団員募集

派遣国 西ドイツ・スペイン
 期間 十月二日(火)～十四日(日)の十三日間
 募集人員・資格年齢 約三十名
 三十歳以上五十五歳未満(地域での活動が顕著な方の場合、五十五歳以上六十歳未満の方でも可)
 団員負担金 約十九万円
 募集期間 三月十二日(月)～四月十二日(日)
 ※詳しくは、市町村婦人対策主管課又は県庁婦人青少年課へ

総務庁青年海外派遣団員募集

青年海外派遣
 派遣先/南西アジア、中近東、アフリカ
 期間/九月から十月の三週間
 対象/二十歳～二十九歳
 東南アジア青年の船
 派遣先/アセアン諸国
 期間/九月から十一月の六十日間
 対象/十八歳～三十歳
 世界青年の船
 派遣先/北中南米
 期間/平成三年一月～三月の七十日間
 対象/二十歳～二十九歳
 ※応募期間は、三月二十七日(火)～四月十七日(火)。
 詳しくは、県庁婦人青少年課へ

県立図書館まんがコーナー開設記念 まんが、アニメと講演めぐり

「藤子不二雄の世界」

漫画家、藤子不二雄(A氏)の講演、アニメーションビデオの上映
 藤子不二雄原画展が行われます。
 日時 三月二十四日(土) 十四時～十六時
 場所 高志会館二階 カルチャーホール
 ※詳しくは、県立図書館へ(☎0764・36・0178)



県立図書館まんがコーナー

日本、外国の子供まんが約千五百点を集めた県立図書館「まんがコーナー」がオープンします。是非ご利用下さい
 ▼日時 三月二十三日(金) 十一時から

オープン

3月は納税強調月間です

県では、三月を「納税強調月間」として、税の仕組みや役割について、みなさんにご理解をいただくとともに、まだ納めていただけていない税金については、早急に納めていただくようお願いしています。なお県税について疑問やお困りのことがありましたら、お気軽に、最寄りの県税事務所へご相談ください。

◎県税の納税窓口は

県内の銀行、信用金庫、農協、漁協、信用組合又は県税事務所にて納めてください。

●県税の所管区域図(平成元年4月1日現在)



◎県税の取扱い・相談は

事務所等	所在地	電話番号
富山県税事務所	富山市舟橋北町1-11	☎(0764)41-2551
自動車税センター	富山市新庄町馬場39-6	☎(0764)24-9211
高岡県税事務所	高岡市赤祖父211	☎(0766)21-9411
魚津県税事務所	魚津市新宿10-7	☎(0765)24-5311
砺波県税事務所	砺波市幸町1-7	☎(0763)33-5151
富山県総務部税務課	富山市新総曲輪1-7	☎(0764)31-4111

★国の税金は税務署へ
 市町村の税金は市役所または町村役場へ

1990年1月11日～2月10日

1月12日 「成人の日」記念優良青年等表彰式
*雪美のひろば・スノーアートとやま'90'オープニング点灯式



1月15日 ガン・カモ科類生息調査(~17日)
1月16日 高度情報化推進会議
1月20日 第43回富山県民体育大会冬季大会スキー競技会(~23日)
元年度富山県海外派遣報告展(~22日)



富山県部門功労(建設部門)表彰式
1月26日 県営かんがい排水事業愛本新発電所完工式
1月28日 中部日本スキー大会(~30日)
1月30日 明るい選挙推進大会
2月1日 富山県地方労働委員会委員辞令交付式
2月2日 総合雪対策推進会議 第二回計画委員会
'90富山の美術開会式(~3月4日)



2月3日 第29回富山県農村教育青年会議
2月4日 雪のファンタジーコンサート
2月9日 第55回国民体育大会 富山県準備委員会、第2回競技専門委員会
2月10日 富山県コロンブス計画 第9回ティーチン

ウツドリムとやま
生きがい木工教室
◎色紙かけの製作
日時 三月十七日(土) 十三時三〇分～十六時三〇分
場所 ウツドリムとやま
料金 八百円(消費税込み)
※詳しくは、ウツドリムとやまへ
☎0766・56・1570



平成2年 4月街頭献血日程

日	曜	場 所	時 間
1	日	氷見市ハッピータウン前	10:00~15:30
		黒部市「メルシー」ショッピングセンター前	10:00~15:30
6	金	立山町役場前	10:00~15:30
7	土	富山市「アビタ」ショッピングセンター前	10:00~16:00
		高岡駅前	10:00~15:30
9	月	庄川町役場前	10:00~15:30
14	土	富山西武前	10:00~16:00
15	日	富山西武前	10:00~16:00
16	月	福岡町役場前	10:00~12:00
		福岡駅前	13:00~15:30
22	日	富山市中央通り	10:00~16:00
23	月	大沢野町役場前	10:00~12:00
		大沢野町図書館前	13:00~15:30
28	土	富山駅前	10:00~16:00
		高岡駅前	10:00~15:30
29	日	砺波市チューリップフェア会場	10:00~15:30

県民会館美術館

「世代にみる富山県の作家たち展」 〈50代〉

県内出身の五十代の作家の充実した近作(日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真)を一堂に展示します。
日時 三月二日(金)～三月二十一日(水)
場所 県民会館美術館
入館料 一般二百円、小・中学生百円
詳しくは、県民会館文化事業課へ
☎0764・32・3111



県民カレッジ ビデオ講座 特別公開講演会

富山県立近代美術館の臨時休館のお知らせ
館内の整備と改装のため、次の日程で臨時に全館休館します。
期間 三月五日(月)～四月十九日(木)まで
なお、四月二十日以降は、通常どおり月曜日、祝日の翌日が休館となります

演題 「生活文化と衣生活」
講師 お茶の水女子大学名誉教授 矢部章彦
日時 三月十日(土) 十四時～十六時
場所 教育文化会館県民カレッジ学習室
受講料 無料(整理券が必要)
※詳しくは、県民カレッジへ
☎0764・41・8635



県情報教育センター 子供パソコン教室

電子教材を使って、コンピュータのしくみの基本である電子カウンターを作成し、電子回路で数をかぞえる原理を理解します。
日時 三月二十六日(月)～二十八日(水)の三日間 九時～十二時
場所 小杉町黒河 富山県情報教育センター
対象 小学五、六年生
(定員十人になり次第締切)
料金 無料
※詳しくは、情報教育センターへ
☎0766・56・7161



春を呼ぶスイセンの小路を歩こう

一足早い春の花まつり

スイセンやパンジー、マーガレットなどの展示、即売が行われます。
日時 三月十七日(土)～十九日(月) 九時～十六時三〇分
場所 砺波市高道/富山県花総合センター
(エレガガーデン)
☎0763・32・1187



表紙	宇奈月雪のカーニバル
表2	撮影／赤羽仁論
P 1	エッセイ 伊藤隆道
P 2	ひと 田中 実
P 6	クロスアツプ
P 12	① 凛々と
P 14	② 中部日本スキー大会
P 16	③ 雪のファンタジーコンサート
P 18	新総合計画の策定状況と取り組み
P 20	P I N U P T O Y A M A
P 24	県庁探訪 総務課
編集後記	ふるさとみてあるき 大島町 とやまアラカルト 県からのお知らせ



とやま 心象23
「富山の建築百選」をみる

コロンニアル・ジョージアン・スタイル

高橋医院(滑川市小林) 明治41年 設計・不詳



みなさんの相談窓口

- 県政については**
- 県民相談室 富山市新総曲輪1-7(県庁内)
☎(0764)31-4111(代)
31-3131(県民電話)
 - 高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211(総合庁舎内)
☎(0766)21-9411(代)
 - 魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7(総合庁舎内)
☎(0765)24-5311(代)
 - 砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7(総合庁舎内)
☎(0763)33-5151(代)

- 消費生活については**
- 消費生活センター
富山市安住町7-18
安住町第一生命ビル内
(一般相談は)
☎(0764)32-9233
(金融相談は)
☎(0764)33-3252
 - 消費生活センター高岡支所
高岡市本丸町7-1
本丸会館内
☎(0766)25-2777

- 交通事故については**
- 富山県交通事故相談所東別館1階
☎(0764) 31-4111内759
 - 相談110番**
家庭問題・悪質商法・寛
せい剤など、どんな相談
にも応じます。
☎(0764)22-0110
 - シルバー110番**
高齢者や家族の心配ごと、
悩みごとに富山県高齢者
総合相談センター
富山市舟橋南町5-14
社会福祉会館内
☎(0764)41-4110

見て、聞いて、県からのホットニュース

TV	RADIO	NEWS PAPER
<p>テレビ広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ●北日本放送 毎週日曜日 AM8:00~8:30 「こんにちが富山県です」 3/4 雪に親しみ、雪を楽しむ 3/11 漁村を支える婦人の活躍 3/18 チューリップマーケットの 拡大を目指して 3/25 とやま肉牛 ●富山テレビ 毎週日曜日 AM9:00~9:30 「110万人のひろば—クイズ/フォーカス・イン」 	<p>ラジオ広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ●FMとやま 「ふれあいホットライン」 県内各地からホットな話題をク リアなサウンドでおとどけしま す。 毎週月~金曜日 AM9:30~9:35 	<p>新聞広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ●北日本、富山、読売、北陸中日 毎月第2土曜日 「県からのお知らせ」 毎月最終土曜日 「みんなの県政」 ●朝日、毎日 毎月第2、最終土曜日 「県からのお知らせ」

編集後記

★大島音頭の踊りの山下先生に聞いて、初めて民謡指導者の国家試験なるものが存在することを知りました。試験の内容は実技と筆記。実技は大丈夫だけど、筆記に皆さん頭を悩ませるそうです。中でも傑作なのが踊りの振付を順に絵で書かせるといふもの。(失礼かも知れませんが炭坑節や安来節の絵図は笑っちゃいますね。)

★「凛々と」のロケを二回程見た。俳優、スタッフ、その他関係者を含めると、総勢約八十名。雪が降りしきる今冬一番の寒さの中で真夏のシーンも撮るなんて。半袖姿の俳優さんの息が白くなるのを防ぐために、口の中に氷を含んだり、ストープをがらがん焚いて部屋の中を暑くしたり。華やかなドラマの陰に、こんなにたくさんの人達の苦勞と協力があつたとは…。

(N)

★高らかな笑い声とともにみんなにユーモアをいっぱいプレゼントしてくれた世界でただ一人の真正銘国家公務員のサンタクローズさん。年齢不詳、体重は秘密、最近はやや太り気味で、えんとうから入れなかつたことも二度ほどあつたとのこと。あなたの身近にいるサンタクローズさんは太り気味に悩んでいませんか?(T)



この作品を初めて目にしたのは昭和五十一年の夏だった。強烈な暑さで、青を通り越して紫を帯びた空の下に立山が聳え、滴る様な緑の平野がなだらかに富山湾に向かって傾斜しつつ広がっている。その中の田舎道を車で走っていて、道の左方にサーモン・ピンクの色をしたこの建物の側面が見えてきた時の美しさは衝撃的だった。

背の高い杉の屋敷社を背景に水平に長く伸びた病室棟の下見板張りの壁の繊細さと軽快さ、上げ下げ窓のライト・ブルーの窓枠、プロポーションと色彩の対比が素晴らしい。正面へ回って見ると、医院本屋は寄棟二階建、下見板張でペディメントを冠した上げ下げ窓を並べ、正面にポーチを付けた堂々たるコロンニアル・ジョージアン・スタイル(ア

メリカン・コロンニアル・スタイルの一つ)である。ここでも、ピンクの壁、ライト・ブラウンのポーチ、ブルーの窓枠、ペディメントのエメラルド・グリーンなどのカラフルな色使いが美しく豪華である。勿論、ペディメントや窓、ポーチの細部の形などには和様の形が混入しているが、全体的に見て概ね様式的に正確である。これは、この病院を創設した医師が東京に学び、当時の順天堂病院の建築に範を取って、この作品を大工に指示して建てたことによる。県内唯一と言っている本格西洋館建築である。

解説／竺 覚暁(工学博士金沢工業大学教授)
写真／風間耕司(日本写真家協会会員)



会期 / 1990年4月1日~9月30日
会場 / 大阪・鶴見緑地



花の万博

4月27日は、「富山県の日」です。